

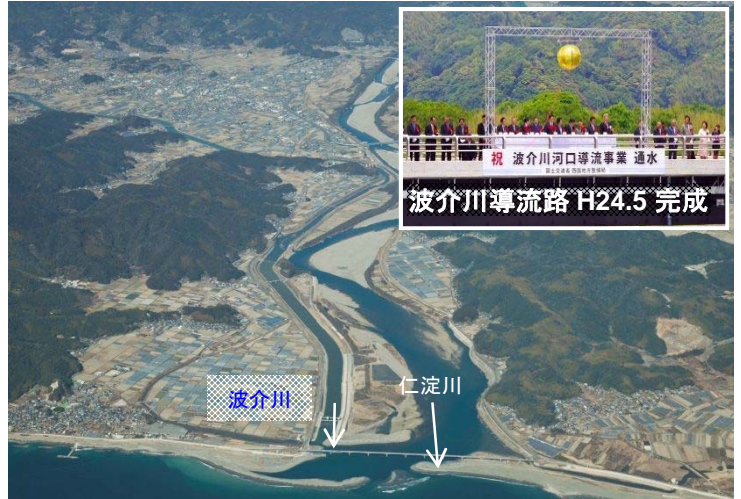
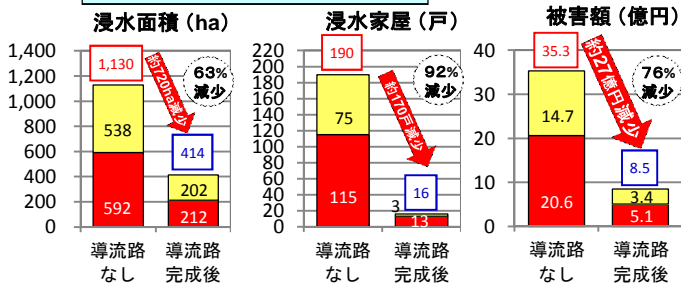
# 河川事業によるストック効果

# 新たな導流路により期待が実現へ【高知県土佐市】

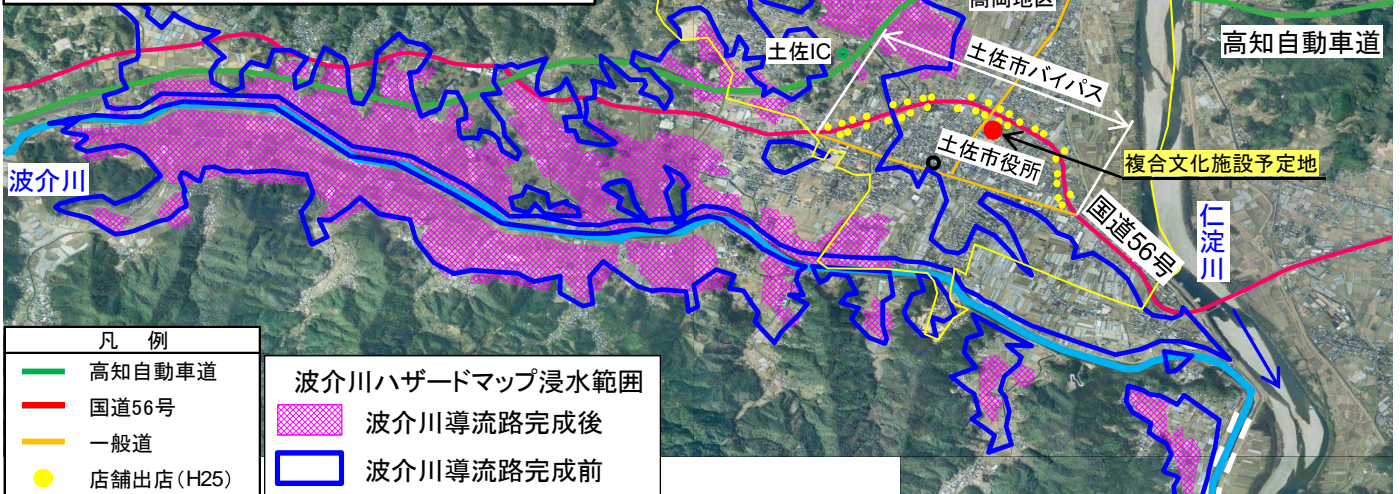
- 波介川導流路の完成により、土佐市中心部の浸水被害が激減
- 土佐市バイパスが完成(平成26年11月)し、高知市へのアクセスが改善
- 浸水リスク減少により、利便性の高い高岡地区での定住人口及び店舗が増加
- 企業誘致に向けた取り組みもスタートし、更なる発展が実施へ



【凡例】  
 □ 台風11号  
 ■ 台風12号



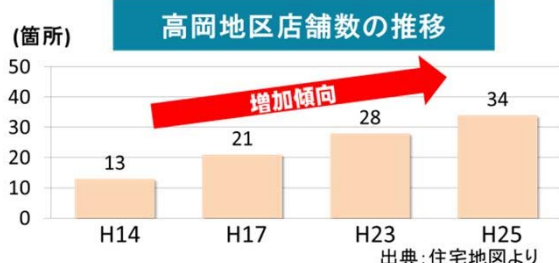
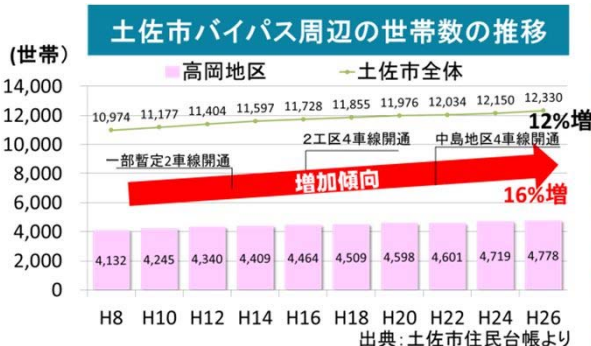
## 波介川洪水ハザードマップ(土佐市)



## 板原市長コメント (H27.5)



昨年の台風12号の際には、波介川河口導流路の治水効果を痛感した。これを、安心して健やかに暮らせるまちづくり、ひいては今後の土佐市の発展につなげていきたい。

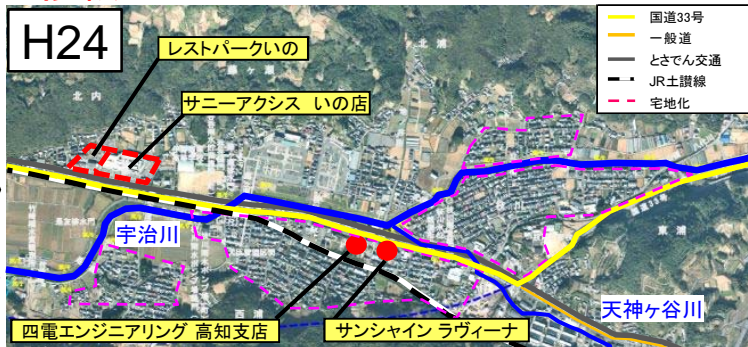
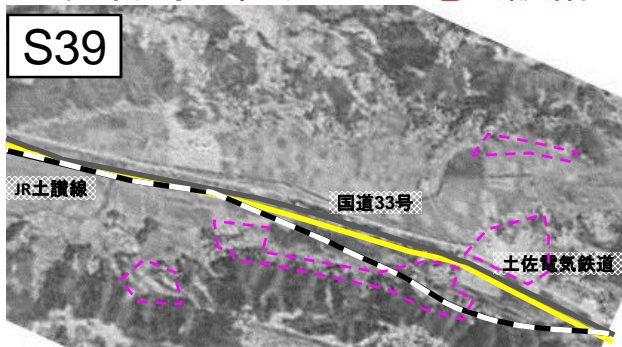


## 企業誘致に向けた土佐市の取り組み

実施内容: アンケート調査  
 対象: 四国4県、大阪府、兵庫県、和歌山県の1府6県  
 業種: 製造、物流などの企業  
 結果: 移転・進出可能性のある企業10社程度

# 「安全・安心の確保」で商業施設等が続々と進出【高知県の町】

- 宇治川の治水安全度向上のため、**放水路等が整備**
- 社会基盤整備が進むに伴い、宇治川流域内の**宅地化**が進行
- 宇治川放水路完成の翌日に**大型商業施設が新規オープン**、既設店舗も**リニューアル**（衣食住が充実）
- 災害時に頼りになる**電気設備会社も移転**



新宇治川放水路トンネル完成 (H19.2.24)

- 宇治川排水機場 S50.3
- 宇治川排水機場増設 S51.7、S52.7
- 宇治川河道改修 S61.3
- 宇治川排水機場増設 H11.3
- 新宇治川放水路 H19.3

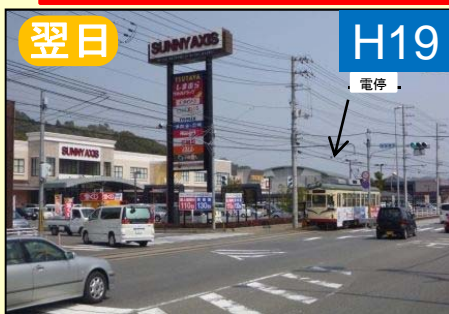


浸水被害の状況 (H16.8)



宇治川流域の宅地面積の推移 (航空写真より判読)

## ハード整備の積み重ねが大きなストック効果に！



大型商業施設が新規オープン (H19.2.25)  
大型商業施設前に電停完成 (H19.1.10)



同商業施設にテナントの新設 (H20.10.25)

大型商業施設	
衣料品	7 店舗
食料品	12 店舗
医療品	2 店舗
医療機関	1 店舗
その他	16 店舗
合計	38 店舗



いの町と災害協定締結(H27.5.19)



既設店舗のリニューアルオープン(H19.3.31)



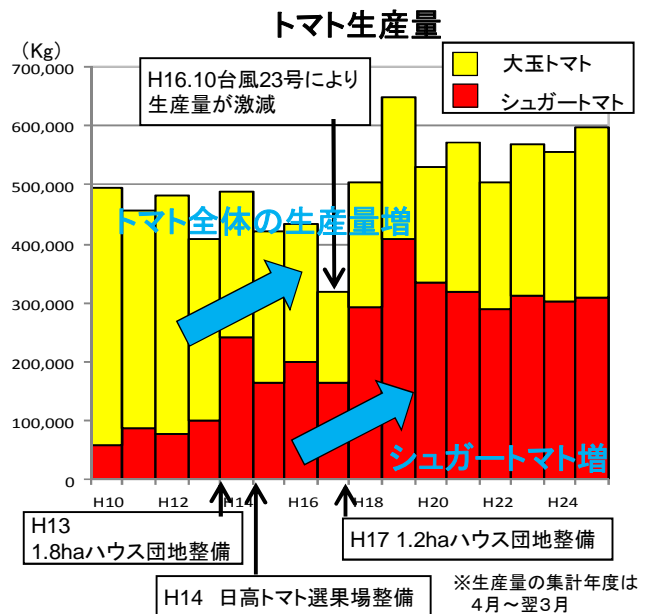
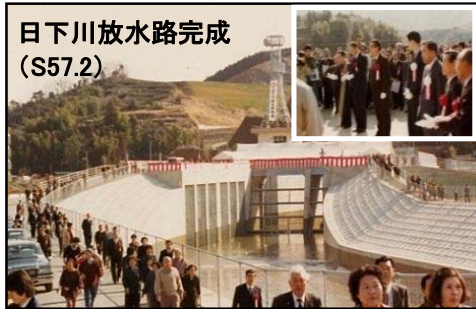
既設店舗のリニューアルオープン(H22.4)



災害時に頼りになる電気設備会社の進出  
発電施設・通信網の早期復旧が可能(H26.7移転)

# トマトの村を支える日下川放水路 【高知県日高村】

- 昭和57年2月の日下川放水路の完成が、ビニールハウスの栽培拡大に寄与し、付加価値が高いシュガートマトの一大生産地となった。
- シュガートマトを素材としたオムライスを提供する「オムライス街道」の取り組みが大盛況。(平成26年は参加6店舗約38,000食の売り上げ)
- さらに、平成26年11月には「村の駅ひだか」がオープン、鮮度抜群のトマトや同加工品の販売を主力に、わずか半年で約10万人の来場を記録している。
- 消費者からシュガートマト生産増量の要望もあり、ハウスの増設計画が進行中。



「オムライス街道」は戸梶日高村長の発案